

I 政策の推進

FUKUOKA NEXT

～「元気で住みやすい」このまちを次のステージへと飛躍させるチャレンジ～

○国家戦略特区を活かし、さらなる「都市の成長」を推進し、その果実を「生活の質の向上」に着実に振り向けるとともに、都市の成長に応じた機能・供給力を向上
 ○人口バランスが変化し、社会保障関係費の増加などにより財政制約も高まってくる中、ICTの活用や民間活力の導入などにより、持続的な成長が可能なまちづくりを推進

★新規
☆拡充

都市の成長の果実を生活の質の向上へ ～動き始めた好循環をより確かなものに～

- ☆すべての小学校に空調設備を整備
- ☆子ども医療費助成の対象拡大
(入院医療:小学6年生までを中学3年生までに)
- ☆新たな保育需要への対応(1,400人分の整備)
- ☆留守家庭子ども会の全施設で小学6年生までの受入開始,夏休み等の開始時間前倒し
- ☆高齢者乗車券にタクシー券を導入
- ☆いきいきセンターふくおかの体制を強化
(39か所→57か所に増設,土曜開設等)
- ★区役所のすべての所属にサービス介助士を配置
- ★高齢者が効果的,効率的にサービスを受けられる仕組みの構築に向けた保健・福祉・医療等の情報の集約・分析
- ★ICTによる情報の収集・活用などにより要介護高齢者の在宅生活の見守りをモデル実施
- ☆「ユニバーサル都市・福岡」の推進(都心部へのベンチ設置)
- ★防災マップ等のデジタル化など避難支援対策を充実強化
- ★農山漁村地域などの市街化調整区域の活性化に向けた地域主体の取組みを支援
- ☆「交流の場」づくりを支援するなど地域デビュー支援を強化



特区を活かした次のステージの都市づくり ～福岡が九州・日本の成長を牽引～

- ☆スタートアップカフェの機能強化
- ★アクティブシニアの創業・就業支援
- ☆女性の創業チャレンジ支援
- ★中小企業・スタートアップ企業マッチング事業
- ★商店街空き店舗における創業応援事業
- ★成長性の高い創業初期の企業の発掘・成長を支援
- ★U/Iターン促進事業
- ★起業家による社会人講話を小中学校で実施するなどチャレンジマインド教育を推進
- ★留学生,大学,外国公館が多い福岡の特徴を活かしたイベント「グローバルコミュニティFUKUOKA」の開催
- ★特区で認められた道路占用事業(STREET PARTY)を実施
- ★外国人からの医療に関する問合せ対応などによる外国人向け医療環境の整備
- ☆水素リーダー都市プロジェクト(下水バイオガスによる世界初の水素ステーションを核とした,先進的なプロジェクトへのチャレンジや燃料電池自動車(FCV)の導入推進)
- ★行政課題解決に民間企業等のアイデアを導入する手法を検討
- ★二枚貝完全養殖チャレンジ事業



さらなる成長を見据えた機能・供給力向上 ～次の世代に遺す福岡を～

- ☆中央ふ頭クルーズセンター供用開始
- ・新青果市場整備(H27年度末開場予定)
- ☆スポーツの拠点となる総合体育館の整備に着手(H30年度開館予定)
- ☆美術館のリニューアルに着手(H30年度開館予定)
- ☆ウォーターフロント地区(中央・博多ふ頭)の再整備計画策定
- ☆コンベンションゾーンにおける第2期展示場等の整備やホテル・賑わい施設等の誘致に向けた調査・検討
- ☆天神明治通り地区地下通路の設計検討
- ☆旧大名小学校跡地まちづくり構想の検討
- ・地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)を推進
- ☆都心部の界わいルートの形成による魅力ある回遊空間の創出を検討
- ★南区における市民サービスの拠点施設整備の調査・検討
- ☆福岡都市圏消防共同指令センターの整備(H29年度運用開始予定)
- ☆春吉橋賑わい空間の創出
- ★高宮南緑地(旧高宮貝島邸)の保全・活用の検討など,歴史的建築物を活用



II 行財政改革の推進

- 市債残高を着実に縮減
[一般会計] [全会計]
▲53億円 ▲363億円
- 歳入確保,行政運営の効率化等の行財政改革による財源の確保
85億円
- 公共施設等の計画的な改修・修繕等(アセットマネジメント)経費を確保
H26当初予算比 +71億円(全会計)

III 平成27年度予算の特徴

(増減はH26当初予算比)

- 一般会計は過去最大規模
7,820億円(+56億円)
- 社会保障関係費は増加
2,473億円(+90億円)
- 子育て・教育環境の向上等に注力
こども育成費 +63億円
教育費 +59億円